

2023年度

吉田学園医療歯科専門学校

医療事務クラーク学科

授業科目 (科目ID)	メディカルクラークⅢ 22i111		担当教員 (実務経験)	松橋 由佳 医療事務員として医療施設に従事し、当該科目の教育を行う。 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>		
対象年次・学期	1年・後期		必修・選択区分	必修	単位数	2単位
授業形態	講義	授業回数(1回90分)		30	時間数	60時間
授業目的	医療事務技能審査試験に向け、受付対応に関する知識向上と敬語の使い方の技能を高める。検定対策として文章力をつける。					
到達目標	医療事務技能審査試験合格					
テキスト・参考図書等	医科医療事務テキスト1・2・資料ブック (出版 株式会社ソラスト) 新秘書特講～秘書検定で学ぶオフィスの常識と心構え～ (出版 早稲田教育出版社) 補助プリント教材					
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準			
	試験	60%	定期試験および提出物等から総合的に評価をする。			
	レポート	%				
	小テスト	%				
	提出物	20%				
	その他	20%				
履修上の留意事項	「自分が患者さんだったら」ということを常に考えて、「わかりやすい説明」と「正しい敬語」が使えるように意識して取り組むこと。					
履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容			
	1	実技Ⅰ 導入	検定試験の説明 練習問題1 グループワーク			
	2	実技Ⅰ ロールプレイ 受付	医療事務スタッフと患者役でロールプレイを実施 練習問題2 (診療所 受付)			
	3	実技Ⅰ ロールプレイ 会計・電話	医療事務スタッフと患者役でロールプレイを実施 練習問題3 (診療所 会計)			
	4	実技Ⅰ 問題1	問題1から問題10では医療事務員としての窓口対応の基本について問題を解きながら学習する。問題1 解答・解説			
	5	実技Ⅰ 問題2	問題2 解答・解説			
	6	実技Ⅰ 問題3	問題3 解答・解説			
	7	実技Ⅰ 問題4	問題4 解答・解説			
	8	実技Ⅰ 問題5	問題5 解答・解説			
	9	実技Ⅰ 問題6	問題6 解答・解説			
	10	実技Ⅰ 問題7	問題7 解答・解説			
	11	実技Ⅰ 問題8	問題8 解答・解説			
	12	実技Ⅰ 問題9	問題9 解答・解説			
	13	実技Ⅰ 問題10	問題10 解答・解説			
	14	実技Ⅰ 模擬試験問題A(問題1・問題2)	模擬試験問題AからEでは試験対策として時間内で文章を書く練習をする。 模擬試験問題A (問題1. 2) 解答・解説			
15	実技Ⅰ 模擬試験問題B(問題1・問題2)	模擬試験問題B (問題1. 2) 解答・解説				

	回数	履修主題	履修内容
履修主題・履修内容	16	実技 I 模擬試験問題C(問題1・問題2)	模擬試験問題C (問題1. 2) 解答・解説
	17	実技 I 模擬試験問題D(問題1・問題2)	模擬試験問題D (問題1. 2) 解答・解説
	18	実技 I 模擬試験問題E(問題1・問題2)	模擬試験問題E (問題1. 2) 解答・解説
	19	実技 I 過去問題1. 2	過去問題1から10では敬語の間違いにも留意しわかりやすく患者様に伝える力を習得する。過去問題1. 2 解答・解説
	20	実技 I 過去問題3. 4	過去問題3. 4 解答・解説
	21	実技 I 過去問題5. 6	過去問題5. 6 解答・解説
	22	実技 I 過去問題7. 8	過去問題7. 8 解答・解説
	23	実技 I 過去問題9. 10	過去問題9. 10 解答・解説
	24	実技 I 検定試験対策問題 1. 2	検定試験と同じ方式で実施 検定対策問題1. 2 解答・解説
	25	実技 I 検定試験対策問題 3. 4	検定対策問題3. 4 解答・解説
	26	実技 I 検定試験対策問題 5. 6	検定対策問題5. 6 解答・解説
	27	実技 I 検定試験対策問題 7. 8	検定対策問題7. 8 解答・解説
	28	実技 I 検定試験対策問題 9. 10	検定対策問題9. 10 解答・解説
	29	実技 I 添削問題1	提出課題 (添削して返却)
	30	実技 I 添削問題2	提出課題 (添削して返却)

2023年度

吉田学園医療歯科専門学校

医療事務クラーク学科

授業科目 (科目ID)	メディカルクラークⅣ 22i112		担当教員 (実務経験)	菅原 広樹 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 医療事務員として医療施設に従事し、当該科目の教育を行う。		
対象年次・学期	1年・後期		必修・選択区分	必修	単位数	1単位
授業形態	演習		授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間
授業目的	12月17日(日)に受験する医療事務技能審査試験合格に向け、メディカルクラークⅠ～Ⅲで学んだ実技Ⅰ・Ⅱ・学科の知識を総合的に向上させる。					
到達目標	医療事務技能審査試験合格					
テキスト・ 参考図書等	医科医療事務テキスト1・2・3・4・資料ブック、医療関連法規 (出版 株式会社ソラスト) 診療点数早見表 (出版 株式会社医学通信社) 新秘書特講～秘書検定で学ぶオフィスの常識と心構え～ (出版 早稲田教育出版) 電卓					
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準			
	試験	60%	定期試験および小テストの結果等から総合的に評価をする。			
	レポート	%				
	小テスト	30%				
	提出物	%				
	その他	10%				
履修上の 留意事項	試験前の1ヶ月間では、本番形式の演習を通して実力アップを図るので、これまでの学習成果を十分発揮できるよう頑張ること。					
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容			
	1	本番形式演習①	受験対策問題①実技Ⅰ			
	2	本番形式演習②	受験対策問題①学科			
	3	本番形式演習③	受験対策問題①実技Ⅱ			
	4	本番形式演習④	受験対策問題②実技Ⅰ			
	5	本番形式演習⑤	受験対策問題②学科			
	6	本番形式演習⑥	受験対策問題②実技Ⅱ			
	7	本番形式演習⑦	受験対策問題③実技Ⅰ			
	8	本番形式演習⑧	受験対策問題③学科			
	9	本番形式演習⑨	受験対策問題③実技Ⅱ			
	10	本番形式演習⑩	受験対策問題④実技Ⅰ			
	11	本番形式演習⑪	受験対策問題④学科			
	12	本番形式演習⑫	受験対策問題④実技Ⅱ			
	13	本番形式演習⑬	受験対策問題⑤実技Ⅰ			
	14	本番形式演習⑭	受験対策問題⑤学科			
15	本番形式演習⑮	受験対策問題⑤実技Ⅱ				

2023年度

吉田学園医療歯科専門学校

医療事務クラーク学科

授業科目 (科目ID)	歯科事務アシスタント I 22i113		担当教員 (実務経験)	松本 崇嗣 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 歯科衛生士として、歯科受付・診療に従事しており、当該科目の教育を行う。	
対象年次・学期	1年・後期		必修・選択区分	必修	単位数 1単位
授業形態	講義・演習		授業回数(1回90分)	8	時間数 16時間
授業目的	・歯科事務に必要な歯の基礎的知識を習得する。・診療録をみて歯科治療の流れがわかるようにする。・歯科診療報酬(点数)の算出方法を理解する。				
到達目標	歯の記号と歯式、歯の構造を説明することができる。点数算定ができる。				
テキスト・参考図書等	プリント配付				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	70%	定期試験の結果、レポートの結果を総合的に評価をする。		
	レポート	30%			
	小テスト	%			
	提出物	%			
	その他	%			
履修上の留意事項	講義と演習を交えながら進行していく。授業中、必ず配布されたプリントを持参すること。講義・演習で作成したレポートは必ず提出すること。				
履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	口腔の名称と構造、歯の記号と歯式	歯の記号と歯式を理解する。歯の構造と歯科疾患の関係を説明する。		
	2	歯科診療録、点数算定	歯科診療録を作成する。点数算定の基本演習を行う。		
	3	う蝕症の点数算定1	う蝕症1度もしくは2度のレジン充填の点数算定、ブラークチャートへの記載		
	4	う蝕症の点数算定2	う蝕症1度もしくは2度のレジン充填の点数算定、口腔清掃状態の実習		
	5	う蝕症の点数算定3	う蝕症1度もしくは2度のインレーの点数算定、印象索得実習		
	6	う蝕症の点数算定4	う蝕症3度のクラウンの点数算定、模型作製		
	7	歯周疾患中程度、重度の点数算定方法	歯周疾患の検査と処置の点数算定方法、精密検査実習		
	8	まとめ(ユニット操作・患者の誘導の仕方)	診療室でのユニットの取り扱い、患者誘導実習		
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
15					

2023年度

吉田学園医療歯科専門学校

医療事務クラーク学科

授業科目 (科目ID)	医療実務 I 22i114		担当教員 (実務経験)	菅原 広樹 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 医療事務員として医療施設に従事し、当該科目の教育を行う。		
対象年次・学期	1年・後期		必修・選択区分	必修	単位数	2単位
授業形態	講義・演習		授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間
授業目的	医療事務の仕事のひとつを学習した後、ケースごとの演習を通して実践的な対応力を身につける。					
到達目標	病院実習に向けての基本的な動きと考え方を身につけることができる。					
テキスト・参考図書等	補助プリント教材 白衣、ナースシューズ					
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準			
	試験	%	小テスト及び提出物の提出状況、積極性、協調性などの取り組み姿勢から総合的に評価をする。			
	レポート	%				
	小テスト	50%				
	提出物	30%				
	その他	20%				
履修上の 留意事項	講義と併せて実践的な演習を交えながら進めていく。着替え・移動・準備等を早めに行い、授業に備えること。					
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容			
	1	身だしなみの重要性	髪型、化粧、アクセサリー、匂いなどの注意点			
	2	接遇チェックリスト	イラスト・シチュエーションを見ながら相応しくない個所の指摘			
	3	病院組織の種類と特徴①	医師、看護部門の職種と職務内容			
	4	病院組織の種類と特徴②	コメディカルと事務部門の職種と職種内容			
	5	社会人としての心がまえ	社会への責任、義務などの具体例			
	6	患者さん対応の一般的流れ	書類記入①～診療申込書、問診票			
	7	患者さん対応の一般的流れ	書類記入②～保険証からカルテ・診察券などへの記入			
	8	患者さん対応の一般的流れ	受付ロールプレイング①～初診時			
	9	患者さん対応の一般的流れ	受付ロールプレイング②～初診時			
	10	患者さん対応の一般的流れ	受付ロールプレイング③～初診時			
	11	患者さん対応の一般的流れ	受付ロールプレイング④～初診時(会計)			
	12	実習の心得①	守秘義務(SNSへの書き込みの禁止など)			
	13	実習の心得②	実習中の注意(挨拶の率先、私語など)の再確認			
	14	実習記録簿の記入方法①	事実と考察を踏まえた記入方法の説明、実践①			
15	実習記録簿の記入方法②	事実と考察を踏まえた記入方法の説明、実践②				

2023年度

吉田学園医療歯科専門学校

医療事務クラーク学科

授業科目 (科目ID)	診療報酬請求事務 I 22i115		担当教員 (実務経験)	米田 慶子 医療事務員として医療施設に従事し、当該科目の教育を行う。 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>		
対象年次・学期	1年・後期		必修・選択区分	必修	単位数	2単位
授業形態	講義		授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間
授業目的	診療報酬請求事務能力認定試験に向け、レセプトに関する知識の向上と試験に対応できる学科知識を習得する。					
到達目標	診療報酬請求事務能力認定試験合格					
テキスト・ 参考図書等	医科医療事務テキスト 資料ブック (出版 株式会社ソラスト) 診療点数早見表 (出版 株式会社医学通信社) 電卓					
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合 (%)	評価基準			
	試験	60%	定期試験および小テストの結果等から総合的に評価をする。			
	レポート	%				
	小テスト	30%				
	提出物	%				
	その他	10%				
履修上の 留意事項	過去問題を中心に、パワーポイントを使用しながら解説していく。今までの学習成果を発揮できるように頑張ること。					
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容			
	1	学科～医療保険制度①	国保、給付率と負担率			
	2	学科～医療保険制度②	保険医療機関の指定及び保険医の登録			
	3	学科～医療保険制度③	故意行為の給付、第三者行為			
	4	学科～療養担当規則①	療養(医療)の給付内容、保険薬局への誘導の禁止、診療の具体的方針			
	5	学科～療養担当規則②	入院患者の看護、帳簿、記録の保存。医薬品と処方箋、対診の照会			
	6	学科～療養担当規則③	保険外併用療養費(特別料金の徴収)			
	7	学科～療養担当規則④	療養の給付と直接関係ないサービス費			
	8	学科～入院時食事療養費①	標準負担額、特別食の具体的内容			
	9	学科～入院時食事療養費②	入院生活療養費の詳細と療養病棟			
	10	学科～医療関連法規①	診療所と病院、開設者及び管理者			
	11	学科～医療関連法規②	応召義務など、無診療治療などの禁止、医業と医師の名称			
	12	学科～医療関連法規③	処方箋、免許、任務、医療従事者			
	13	学科～後期高齢者医療	対象者と費用、自己負担			
	14	学科～介護保険制度①	保険者と対象者、介護認定までの流れ			
15	学科～介護保険制度②	要支援と要介護、医療保険との調整				

2023年度

吉田学園医療歯科専門学校

医療事務クラーク学科

授業科目 (科目ID)	医事コンピュータ演習 I 22i116		担当教員 (実務経験)	加藤 茜 医療事務員として医療施設に従事し、当該科目の教育を行う。 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	
対象年次・学期	1年・後期		必修・選択区分	必修	単位数 2単位
授業形態	演習		授業回数(1回90分)	30	時間数 60時間
授業目的	前期で学習した医療事務の基礎知識をもとにコンピュータ処理能力を高める。				
到達目標	医事コンピュータ検定3級合格				
テキスト・ 参考図書等	医科医療事務テキスト 資料ブック (出版 株式会社ソラスト) 診療点数早見表 (出版 株式会社医学通信社) 医療事務コンピュータ用練習問題集 (出版 日本医療事務技能検定協会) 電卓				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	60%	定期試験の結果、提出物の提出状況等から総合的に評価をする。		
	レポート	%			
	小テスト	%			
	提出物	30%			
	その他	10%			
履修上の 留意事項	医事コンピュータソフトを使用しながら検定に向けて進めていく。コンピュータの操作方法をしっかりと理解し、算定漏れがないように注意すること。				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	基本的動作	自分のカルテ作成・上書入力①		
	2	基本的動作	自分のカルテ作成・上書入力②		
	3	医療機関情報・患者情報・傷病名入力①	カルテ問題から上書き①		
	4	医療機関情報・患者情報・傷病名入力② 未コード化入力①	カルテ問題から上書き② 未登録傷病名入力①		
	5	未コード化入力②	未登録傷病名入力②		
	6	初再診入力	カルテ問題から初再診まで入力		
	7	医学管理	カルテ問題から医学管理入力		
	8	在宅医療入力	カルテ問題から在宅医療入力		
	9	投薬入力①	カルテ問題から投薬入力①		
	10	投薬入力②	カルテ問題から投薬入力②		
	11	注射入力①	カルテ問題から注射入力①		
	12	注射入力②	カルテ問題から注射入力②		
	13	処置入力①	カルテ問題から処置入力①		
	14	処置入力②	カルテ問題から処置入力②		
15	検査入力①	カルテ問題から検査入力①			

	回数	履修主題	履修内容
履修主題・履修内容	16	検査入力②	カルテ問題から検査入力②
	17	手術・麻酔入力①	カルテ問題から手術・麻酔入力①
	18	手術・麻酔入力②	カルテ問題から手術・麻酔入力②
	19	画像入力①	カルテ問題から画像入力①
	20	画像入力②	カルテ問題から画像入力②
	21	カルテ入力(総合)①	外来問題入力・解答解説①
	22	カルテ入力(総合)②	外来問題入力・解答解説②
	23	検定対策	本番形式測定①
	24	検定対策	本番形式測定②
	25	検定対策	本番形式測定③
	26	検定対策	本番形式測定④
	27	検定対策	本番形式測定⑤
	28	検定対策	本番形式測定⑥
	29	検定対策	本番形式測定⑦
30	検定対策	本番形式測定⑧	

2023年度

吉田学園医療歯科専門学校

医療事務クラーク学科

授業科目 (科目ID)	医療関連法規・医療基礎用語 22i117		担当教員 (実務経験)	米田 慶子 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 医療事務員として医療施設に従事し、当該科目の教育を行う。	
対象年次・学期	1年・前期		必修・選択区分	必修	単位数 2単位
授業形態	講義		授業回数(1回90分)	15	時間数 30時間
授業目的	医療従事者に関わる法律(医療法、医師法、薬事法など)の内容や日常業務で用いられる医療用語の意味を学び、理解する。				
到達目標	医療従事者として必要な法律の知識や用語を説明することができる。				
テキスト・ 参考図書等	医療関連法規(出版 株式会社ソラスト)				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	60%	定期試験および小テストの結果等から総合的に評価をする。		
	レポート	%			
	小テスト	30%			
	提出物	%			
	その他	10%			
履修上の 留意事項	教本を中心に、プリントを使用しながら進めていく。授業に必要な物を忘れずに用意すること。				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	総論	オリエンテーション(授業のねらい、心構え、準備するものなど)、法規概論、用語概要		
	2	用語①	人体用語、人体の名称		
	3	用語②	医療機関で使われる難読用語、傷病名(読み方と意味、関連傷病名など)		
	4	法規①	医療提供施設に関する法規(医療法の定義)		
	5	法規②	医療従事者に関する法規(医師法、歯科医師法、保健師助産師看護師法など)		
	6	用語③	医療機関で使われるカルテ用語(読み方と意味、関連の傷病名、部位名など)		
	7	法規③	予防衛生、保健衛生、環境衛生に関する法規、薬事関連法規		
	8	用語④	医療機関で使われる投薬、注射、処置用語		
	9	用語⑤	医療機関で使われる手術、検査、画像用語		
	10	法規④	療養担当規則、保険医療機関、保険医についての規則		
	11	法規⑤	社会保険、社会福祉他医療保険、社会福祉関連法規、介護保険法など		
	12	用語⑥	病棟内で使われる医学用語、看護用語(医療事務員、クラーク、秘書が知っておくべき専門用語)		
	13	用語⑦	医療統計、医療IT用語		
	14	用語まとめ	医療関連機関で使われる用語の意味と漢字の読みの復習		
15	法規まとめ	法規と制度についての総括 定期試験の説明			

授業科目 (科目ID)	臨床検査学 22i118		担当教員 (実務経験)	星 直樹 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 医療施設で臨床検査技師として従事し、当該科目の教育を行う。別紙1参照。	
対象年次・学期	1年・後期		必修・選択区分	必修	単位数 2単位
授業形態	講義		授業回数(1回90分)	15	時間数 30時間
授業目的	医療機関の第一線で毎日必要となる「臨床検査に関する基礎知識」を学ぶ。特に臨床検査を体験することにより、臨床検査を身近なものとする。				
到達目標	様々な臨床検査を学び、体験することにより、簡単な臨床検査の内容について説明が出来るようになる。				
テキスト・参考図書等	主要となるテキストはなし、配付プリントと板書で資料を制作				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	60%	小テストおよび提出物の結果等から総合的に評価をする。		
	レポート	%			
	小テスト	50%			
	提出物	40%			
	その他	10%			
履修上の 留意事項	講義と実習を交えながら進めていく。テキストは特にないので、配付したプリントで板書した内容を各自で記入していき、定期試験までまとめファイリングしておくこととする。基本的に、配付プリントの紛失については申告がない限りは再配付はしないので注意すること。				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	臨床検査の説明-I	病院施設における臨床検査を学ぶ。		
	2	臨床検査の説明-II	様々な臨床検査の内容について学ぶ。		
	3	血液学的検査-I	血液学的検査について学ぶ。		
	4	血液学的検査-II	顕微鏡の原理、使用方法について学ぶ。		
	5	血液学的検査-III	血液標本を観察する。		
	6	生化学的検査-I	生化学的検査について学ぶ。		
	7	生化学的検査-II	比色の原理を体験する。		
	8	生化学的検査-III	正確さについて体験する。		
	9	生化学的検査-IV	血糖値検査を体験する。		
	10	免疫学的検査-I	免疫学的検査について学ぶ。		
	11	免疫学的検査-II	ABO血液型検査を体験する。		
	12	免疫学的検査-III	採血を体験する。		
	13	微生物学的検査	微生物学的検査について学び、グラム染色を体験する。		
	14	生体検査-I	心電図検査を体験する。		
15	生体検査-II	超音波検査を体験する。			

2023年度

吉田学園医療歯科専門学校

医療事務クラーク学科

授業科目 (科目ID)	病院実習 I 22i119		担当教員 (実務経験)	米田 慶子 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 医療事務員として医療施設に従事し、当該科目の教育を行う。		
対象年次・学期	1年・後期		必修・選択区分	必修	単位数	1単位
授業形態	実習		授業回数(1回90分)		時間数	45時間
授業目的	医療機関での医療事務業務を見学・体験し、現場での役割を理解する。					
到達目標	医療事務員としての基本姿勢(挨拶、身だしなみなど)ができ、業務内容を説明することができる。					
テキスト・参考図書等						
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準			
	試験	%	レポートや提出物の提出状況および実習報告会での発表内容から総合的に評価をする。			
	レポート	30%				
	小テスト	%				
	提出物	50%				
	その他	20%				
履修上の留意事項	医療実務 I で実践的な事柄や注意事項および社会人としてのマナーを学んでから実習に臨む。学校で学習した内容と各医療機関でのルールが違うことがあるが、その場合は各医療機関のルールに合わせて学習すること。					
履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容			
	1	社会人の理解	ビジネスマナーの理解や対人コミュニケーション能力			
	2	医療事務員の理解	それぞれの医療機関の方針、内容の理解			
	3	医療事務員の理解	患者様への対応、言葉遣い、気遣い			
	4	医療事務員の理解	与えられた業務への取り組み方			
	5	(以上5日間)				
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
15						

2023年度

吉田学園医療歯科専門学校

医療事務クラーク学科

授業科目 (科目ID)	医療実務演習 22i120・121・122		担当教員 (実務経験)	米田 慶子 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 医療事務員として医療施設に従事し、当該科目の教育を行う。		
対象年次・学期	1年・後期		必修・選択区分	選択	単位数	1単位
授業形態	講義		授業回数(1回90分)	8	時間数	16時間
授業目的	調剤薬局、病棟クラーク、医療事務の仕事をはじめ通り学習し、演習に取り組む。病院見学をして医療実務の理解をより深める。					
到達目標	調剤薬局の仕事と医療事務、病棟クラークの仕事を区別することができる。					
テキスト・参考図書等	プリント配付					
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準			
	試験	%	レポートや提出物の提出状況等から総合的に評価をする。			
	レポート	30%				
	小テスト	%				
	提出物	60%				
	その他	10%				
履修上の留意事項	基本的な病棟クラーク、調剤薬局、医療事務業務を学んでから、選択しているコースの見学実習に臨む。基本的な医療事務の他の業務内容を理解すること。医療機関の見学があることを考えて、積極的な質問や疑問などがあればまとめておくこと。					
履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容			
	1	病棟クラークの概要(新田)	医療従事者としての心構えと病棟クラークの理解			
	2	病棟クラークの仕事内容(新田)	クラークと看護助手の相違点と類似点			
	3	調剤薬局の概要(太田)	調剤薬局の理解と調剤薬局受付対応の流れと接遇			
	4	調剤薬局の仕事内容(太田)	調剤薬局の流れと会計・見送り			
	5	医療事務の概要(米田)	医療事務についての理解			
	6	医療事務の仕事内容(米田)	医療事務業務の実際			
	7	現場見学(米田)	調剤薬局業務、病棟クラーク業務、医療事務業務の見学			
	8	現場見学(米田)	調剤薬局業務、病棟クラーク業務、医療事務業務の見学			
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
15						

